

高校生のヘルメット着用取組について

1 ヘルメット着用推進の経緯



2 ヘルメットデザイン検討委員会



県立高校・中等教育学校生徒、教員、ヘルメットメーカー開発担当者、県教育委員会

3 生徒・教員対象ヘルメット着用推進会議



ヘルメットの機能性や安全性などについて話し合った

4 啓発パンフレットの制作及び配布

生徒が中心となって制作した。



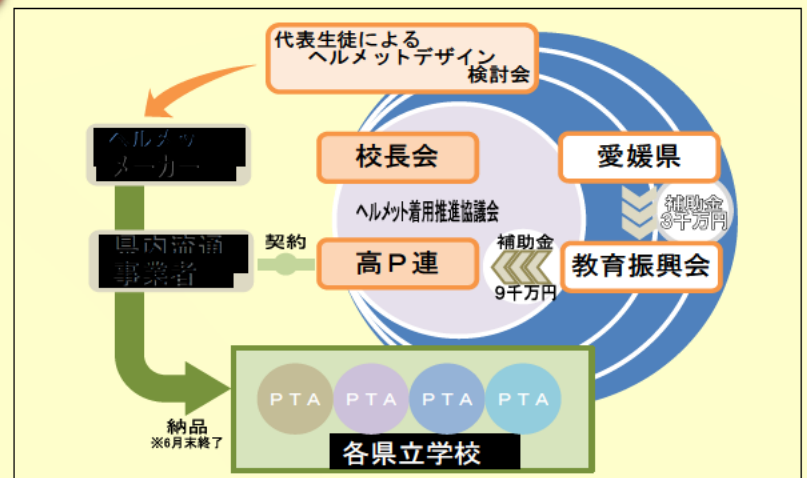
5 ヘルメット贈呈式



「愛媛新聞提供 2015年7月1日付」

27年度は、県立学校が加盟している愛媛県教育振興会の購入支援に併せて、県からも補助を行うことにより、県立学校生約3万人にヘルメットが無償配布された。

6 ヘルメット購入支援事業



購入支援は、27年度限りの予定としていたが、校長会、保護者等からの継続の要望が強かったことから、28・29年度についても、ヘルメットを新しく購入する新入生に対して、購入費用の1/3以下(上限1,000円)を県から補助することとした。なお、2/3の2,000円は原則保護者負担とした。

7 ヘルメット着用啓発ポスターの制作



県立高校生から標語・写真を募集、web投票

8 保護者の願い



「愛媛新聞提供 2016年4月1日付」 「愛媛新聞提供 2016年3月14日付」

ヘルメットによって救われた命と保護者の願い

9

社会の意識を変えるヘルメット

今後とも、ヘルメットを着用することで、高校生から、自分の命は自分で守るという意識を高めるとともに、ヘルメット着用を新しいファッションとして定着させ、「自転車新文化」の発展の一翼を担っていきたい。